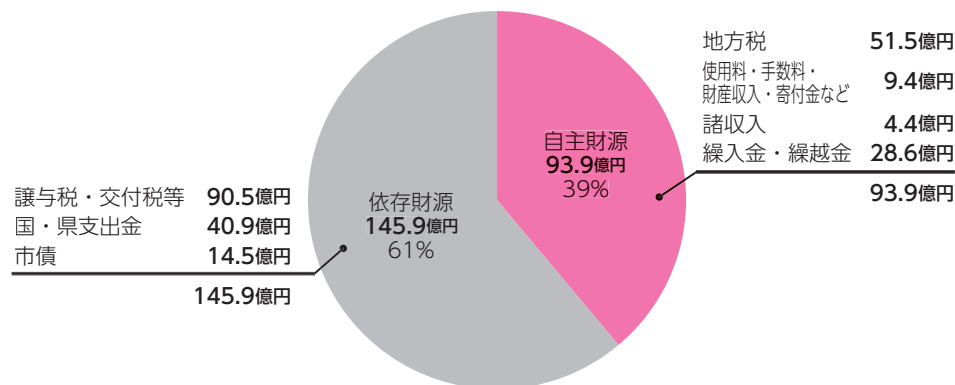


普通会計では、歳入239.8億円に対し、歳出は218.1億円で、翌年度へ繰り越す事業の財源12.3億円を差し引くと、9.4億円の黒字決算となりました。このうち、4.8億円は財政調整基金に積み立てました。

※普通会計とは、一般会計と特別会計の一部をあわせて、自治体間で比較可能となるよう全国共通の基準で考えられた会計の単位です。備前市では、一般会計並びに土地取得事業、飲料水供給事業及び駐車場事業の特別会計が普通会計に属する会計です。

普通会計 歳入 決算額 (億円)

239.8億円

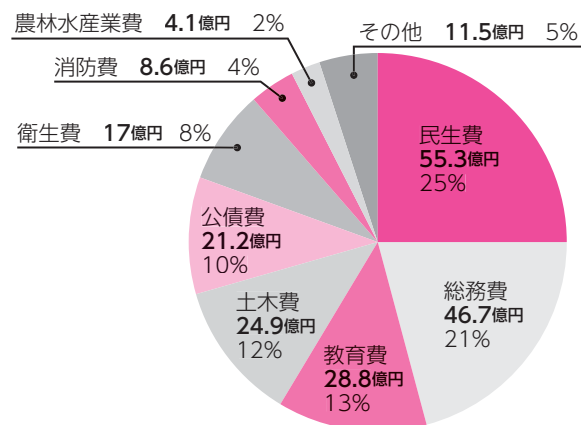


歳入額は239.8億円で前年度より4.4% (約10億円) 増加しました。主な要因は、譲与税・交付税等の増加 (約4億円増)、市債の借入が増加 (約7億円増) したことによるものです。地方税としては、約0.3億円の増加となっている一方で、市債の借入の影響により、全体に占める自主財源の比率は低下しています。

※それぞれの金額を四捨五入しているため、一致しない場合があります。

普通会計 歳出 決算額 (億円)

218.1億円

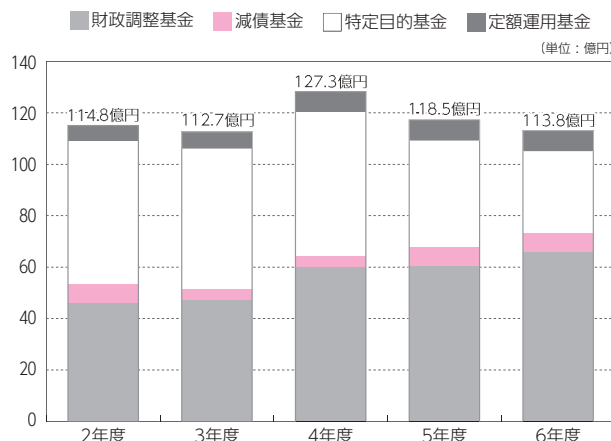


歳出額は218.1億円で前年度より3.1% (約6.5億円) 増加しました。主な原因は、旧アルファビゼン跡地活用事業、物価高騰の影響が大きい低所得者に対する現金・ポイント給付によるもので、総務費が約16億円増加し、一方で令和5年度で支出が終わったものを含め約9.2億円減少しました。減少したものは、吉永町福満の企業用地造成事業に対する繰出金 (商工費約4.6億円減)、物価高騰の影響が大きい生活困窮者 (低所得者) に対する現金給付 (民生費約3億円減)、予防接種事業 (衛生費約1.6億円減) が挙げられます。

※それぞれの金額を四捨五入しているため、一致しない場合があります。

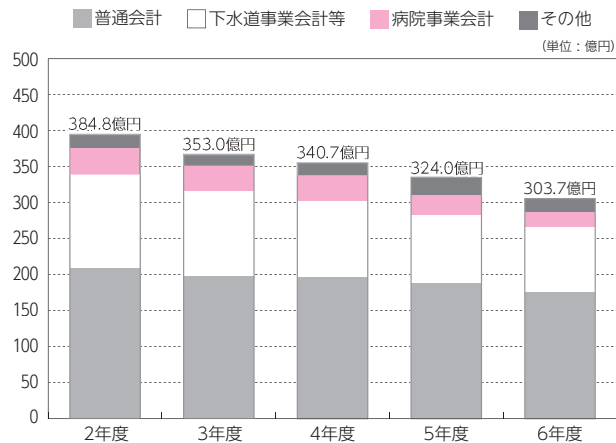
備前市の貯金額 113.8億円

景気変動による市税の減少や災害に対応するための備えとして積立をおこなっています。令和6年度は、財政調整基金、減債基金等を積立てましたが、事業のため特定目的基金を取り崩したため、基金残高は約4.7億円減少しました。



備前市の借金額 303.7億円

借金の残高は、減少傾向（昨年度から約20億円減）となっています。今後は、大型施設の整備事業（ビーテラス、備前市美術館、新図書館）のための地方債により、一時的に残高が増えますが、その後は減少傾向となる見込みです。



一般会計・特別会計・公営企業会計

一般会計は、歳入236.37億円に対し、歳出は215.25億円で、翌年度へ繰り越す事業の財源12.31億円を差し引くと、8.81億円の黒字決算となりました。このうち、4.8億円を財政調整基金に積み立てました。

(単位: 億円)

会計別		歳入	歳出	翌年度へ繰り越す事業の財源	差引
特別会計	国民健康保険事業	39.23	37.64		1.59
	土地取得事業	2.88	2.65		0.23
	三石財産区管理事業	0.14	0.09		0.05
	三国地区財産区管理事業	0.11	0.02		0.09
	浄化槽整備事業	0.22	0.18		0.04
	後期高齢者医療事業	7.01	6.91		0.10
	介護保険事業	42.01	40.40		1.61
	飲料水供給事業	0.56	0.31		0.25
	宅地造成分譲事業	0.18	0.10		0.08
	駐車場事業	0.35	0.23		0.12
	企業用地造成事業	5.01	3.23	0.68	1.10
	特別会計合計	97.70	91.76	0.68	5.26

特別会計（11会計）では、歳入97.70億円に対し、歳出91.75億円で、企業用地造成事業特別会計における翌年度へ繰り越す事業の財源0.68億円を差し引くと、5.26億円の黒字決算となりました。

会計別		歳入	歳出	差引
企業会計	水道事業	収益的収支 7.30	7.90	△ 0.60
	会 計	資本的収支 0.29	11.28	△ 10.99
	下水道事業	収益的収支 16.74	17.75	△ 1.01
	会 計	資本的収支 4.56	11.24	△ 6.68
	病院事業	収益的収支 49.29	51.30	△ 2.01
	会 計	資本的収支 2.06	3.48	△ 1.42

地方消費税交付金（社会保障財源化分）の充当事業

・地方消費税交付金 8.9億円（うち社会保障財源化分 4.7億円）

(単位: 億円)

事業名等	事業費	財源内訳				
		特定財源			一般財源	
		国庫支出金	県支出金	その他	うち地方消費税交付金（社会保障財源化分）	
障がい者やひとり親家庭に対するもの（社会福祉:7事業）	14.900	7.530	2.900	0.342	19.700	4.700
特別会計（国保、介護、後期高齢）への繰出金等（社会保険:4事業）	17.200	0.535	2.000	0.005		
子ども、妊婦、精神保健に対するもの（保健衛生:4事業）	1.600	0.099	0.100	0.003		
合 計	33.700	8.164	5.500	0.350	19.700	4.700

都市計画税の充当事業

・都市計画税 1.65億円

(単位: 億円)

事業名等	事業費	財源内訳		
		特定財源	一般財源	
			うち都市計画税	
公営企業会計における都市計画事業（公共下水道事業）に対する繰出し	7.680	0	7.750	
都市計画事業関連の地方債償還	0.070	0		
合 計	7.750	0	7.750	

令和6年度 主な事業

教育・文化

- ・電子黒板導入事業（こども園・小中学校）
..... 1億7,800万円
- ・給食材料費の負担免除（こども園・小中学校）
..... 1億6,900万円
- ・グラウンド改良工事（備前中・吉永中）
..... 3,500万円
- ・小・中学校学用品費の負担免除
..... 3,100万円
- ・保育材料費負担の免除（こども園）..... 1,500万円
- ・紙おむつ等の無償提供（こども園）..... 700万円
- ・放課後子ども教室事業 400万円
- ・新図書館整備事業 2億8,600万円
- ・三石体育館解体撤去工事 5,900万円
- ・備前ビエンナーレ事業 1,400万円



交流・コミュニティ

- ・地域おこし協力隊導入事業 5,000万円
- ・自治会への運営支援 1,600万円

健康・福祉

- ・障害者給付事業 9億8,100万円
- ・障害児通所給付等事業 1億4,000万円
- ・物価高騰対応重点支援給付金給付事業
（非課税世帯） 1億2,500万円
- ・物価高騰対応重点支援給付金給付事業
（一体支援枠）・社会福祉課分 1億200万円
- ・生活支援ポイント給付事業 6,500万円
- ・3歳未満を家庭で育児する方に対する
家庭育児応援金 4,000万円



産業経済・都市計画

- ・吉永町福満地区企業用地造成事業 ... 3億2,300万円
- ・農業用ため池の廃止及び避難経路の策定
..... 1億1,500万円
- ・移住定住推進事業
（若年者家賃補助金等の各種補助金） ... 2,300万円
- ・備前焼振興事業（備前焼の魅力発信、
後継者育成等に対する各種補助金） 1,100万円



安全・生活基盤

- ・市道新設改良事業（浦伊部線・片鉄ロマン街道）
..... 4億100万円
- ・水害対策事業（トイレカー2台・非常用電源5台・
災害備蓄品の購入等） 2,400万円



生活環境

- ・野谷坑水処理場改修工事（令和2年度～令和6年度
実施）うち令和6年度実施分 2億2,800万円
- ・公共交通維持事業 2億600万円

その他

- ・旧アルファビゼン跡地活用事業（改修工事）
..... 10億9,400万円
- ・物価高騰対応重点支援給付金給付事業
（一体支援枠）・税務課分 2億2,700万円
- ・インクルーシブ遊具設置工事（日生・吉永） ... 3,200万円
- ・市政施行20周年記念誌作成事業 200万円



今後の財政の見通し

歳入面では、昨年度に比べ企業業績がよくなったことから、法人市民税が約1.5億円増加しましたが、個人に対する定額減税の影響により約1億円の減少（令和6年度限り）となりました。今後の法人市民税の見通しは、国内外の景気の影響を大きく受け不透明であるとともに、長期的にみれば人口減少により地方税及び交付税等が減少していくことが見込まれています。一方、歳出面では、市美術館やビーテラスの完成に伴う市債の償還、物価高騰や賃金上昇、高齢者・子ども・障がい者・低所得者等に対する各種の施策に伴う経費の増加が見込まれています。今後は令和7年12月に更新した「第3次備前市総合計画（備前市まち・ひと・しごと創生総合戦略）」に基づき、財政状況の見通しを立てながら、いざという時の財政調整基金を確保し、財政運営に取り組んでいきます。